



【事業計画名】

安全、衛生的で環境負荷を低減させる次世代型のクリーニングの提供

背景・目的

環境にやさしいクリーニングを目指したい

当社は青森市内19カ所に店舗を構え、一般クリーニング業として衣類（一般）・寝具類・和服・皮革製品・絨毯などを取り扱い、集配業務も行っています。地域に根ざしたクリーニング店として、創業からドライクリーニングと水洗いでお客さまのニーズに対応してきました。

ドライクリーニングは、石油系溶剤を用いることで油よごれを落としやすいというメリットがあります。一方で乾燥時に溶剤が衣類に残留しやすく、衣類へのダメージや着用の際に低温やけどのリスクなども考えられます。また、工場内で発生する溶剤臭や大気中への揮発性有機化合物（VOC）の排

出による環境破壊の影響も考えられるため、石油系溶剤を衣類からできるだけ取り除き、環境負荷を低減できる機器の導入が課題でした。



実施内容

回収乾燥機の導入で、環境への負荷を低減

もともと乾燥機は2台ありましたが、今回、環境負荷を低減できる設備として、安全で衛生的な最新型の回収乾燥機を4台導入しました。回収乾燥機とは、ドライクリーニングにおいて石油系溶剤で洗浄した衣料を乾燥させるための専用乾燥機です。乾燥中に

発生する石油ガスを乾燥機内で凝縮し、石油系溶剤に還元することで、衣料に残留する溶剤を減らすことができます。これにより大気中への揮発性有機化合物（VOC）排出の削減や、排気臭の抑制ができ、環境負荷の課題を解決できる点、また、乾燥効率の良

さも機器導入の決め手となりました。



事業成果

石油系溶剤の回収率が改善し、環境にやさしいクリーニングを実現

回収乾燥機を新規導入したことで、石油系溶剤の回収率は従来の乾燥機の回収率50%から94%にまで改善し、ほとんどの溶剤を回収できるようになりました。溶剤の回収率が高まったことで溶剤臭が消え、工場内の作業環境や周辺環境が改善しました。

また、乾燥機に入れる時間は、従来では45分程度だったのが30分程度にまで短縮され、回転率がよくなりまし

た。4～5月は衣替えによる繁忙期のため厚手の衣類のクリーニングが多く、作業時間がかかっていましたが、回収乾燥機の導入によって作業効率が向上し、全自動プログラムによる乾燥で、お預かりした衣料の品質を均一に上げることができています。

乾燥の温度と時間の管理ができるようになったことから、仕上がりの風合いも向上しました。



ココがポイント

作業時間の短縮によって新商品の開発も可能に

乾燥時間が短縮されたことによって、ドライクリーニング後に**水洗いも行ふ「Wクリーニング」が提供可能**になりました。水洗いとダブルで行うことで一層汚れにアプローチできます。

また、**撥水加工などの新たな付加価値の提案も可能に**。作業時間が短縮されたことで付加価値のある商品の開発に結び付きました。



今後の展望

付加価値のあるサービスで他社との差別化を図る

今、クリーニング業界は家庭用洗濯機の大型化や利便性、ファストファッションの流行によって需要が落ちている現状があります。一方で、コロナ禍によって目に見えないウイルスや菌に敏感なお客様も増えており、そういった需要から、当社では2020年8月から「オーリス加工」の提供を開始しました。抗菌・防臭・抗ウイルスに優れた効果を発揮する「オーリス加工」は、生地上のウイルスを99.9%低減させる効

果があり、一般衣類のクリーニングすべてに対しこのサービスを行ってまいります。回収乾燥機の導入によって作業の効率化が実現でき、その余剰時間で新たな技術を取り入れて提供することにもつながっています。お客様に必要な付加価値を提供できるか、またお客様にご利用しやすい価格帯で提供できるかを常に考え、今後もチャレンジしていきます。クリーニング代は家庭での出費の中

でも順位が低いほうではありますが、青森市に根ざしたクリーニング店として、チラシやHP、ダイレクトメールなども積極的に活用し、サービスの周知に努め、価格面でも「頼みやすい」クリーニング店を目指します。



有限会社ツルヤ

代表取締役 斎倉 治

◎創業 昭和40年11月

◎資本金 500万円

◎従業員 55名

〒030-0113 青森市第二間屋町2丁目8番28号
TEL.017-739-2657 FAX.017-739-9620
URL: <http://www.mamago.co.jp/>